

2年 確率

_____年 _____組 _____番 氏名 _____

1. 以下の事柄のうち同様に確からしいと考えられるものに、そうでないものには×をつけなさい。

ふつうのさいころを投げるとき 1 から 6 までのどの目が出ること。

焼津市における明日の天気が晴,曇り,雨のどちらかになること。

1 枚の硬貨を 2 回投げるとき 2 回とも表, 1 回が表でもう 1 回が裏, 2 回とも裏になること。

--	--	--	--	--	--	--	--

2. にあてはまる言葉または数や式を書きなさい。

(1) A の袋には黒玉 3 個, B の袋には黒玉 2 個と白玉 1 個, C の袋には黒玉 1 個と白玉 2 個, D の袋には白玉 3 個が入っているとき, それぞれの袋から 1 個の玉を取り出すとき白玉の出る確率を求めると A は , B は , C は , D は となり, の袋から取り出すとき一番白玉が出やすいと言えます。

(2) 1 つのさいころを投げて偶数の目が出る確率を考えるとき, 目の出方は 通りあり, そのうち偶数の目は 通りあるので,

$$(\text{偶数の目が出る確率}) = \frac{\text{偶数の目の通り数}}{\text{目の出方の通り数}} = \frac{\text{}}{\text{}} = \text{}$$

となります。

(3) あることがらの起こる確率を p とすると, p の範囲は $0 \leq p \leq 1$ となります。確率 $p = 0$ とはそのことがらは ことを表しています。確率 $p = 1$ とはそのことがらは ことを表しています。

3. A, B, C, D, E の 5 つのチームの中から 2 つの代表チームをくじで選ぶとき, 次の確率を求めなさい。

(1) B, D の 2 チームが選ばれる確率。

(2) A が選ばれる確率。

4. さいころを以下のように投げるときその確率を求めなさい。

(1) 1 つのさいころを 2 回投げるとき, 目の和が 8 になる確率。(2 点)

<考え方>

(2) 2 つのさいころを同時に投げるとき, 出た目の積が 4 の倍数になる確率。(2 点)

<考え方>

5. 4 枚のカードがあり, それぞれのカードには 1, 2, 3, 4 と書いてあります。このカードをよくきって 2 枚選び 1 列に並べて 2 けたの整数を作ります。このことについて以下の問いに答えなさい。

(1) このことを表す樹形図を作り, 何通りの整数ができるか調べなさい。(2 点)

<考え方>

(2) できる整数が素数になる確率を求めなさい。(2 点)

<考え方>